



日本遺産「鮭の聖地」の物語

まちめぐりマップ



「鮭の聖地」を訪ねる夏のおすすめコース

① 標津サーモン科学館



生態から歴史、食文化まで、鮭のすべてが分かる水族館。サケ科魚類展示種類数では国内最多となる世界の18種30種類以上を展示している。標津川とつながる

「魚道水槽」では、2～6月には稚魚の群泳、9～10月には遡上、11月には産卵行動といった季節ごとの鮭の様子をガラス越しに観察できる。巨大イクラのオブジェが乗ったタワーが目印。

TEL：0153-82-1141



✈ 中標津空港

約30分

① 標津サーモン科学館見学 (約1時間)

約5分

② まち歩き (約1時間)

宿 泊

③ 標津漁港鮭の水揚げ見学 (約1時間)

約5分

④ ポー川ビジターセンター見学 (約30分)

⑤ 原始河川ポー川カヌー (約2時間)

約5分

市街地にて昼食

「根室海峡鮭茶漬け」を堪能

約5分

⑥ ポー川史跡自然公園散策 (約2時間30分)

約30分

✈ 中標津空港

② まち歩き



根室管内最古の神社である標津神社や地域ハサップの取組をしている漁港を巡り幕末の標津の様子を描いた標津番屋屏風絵と比べながらまち歩き。町の飲食店では、切り身だけではなく珍味と言われる料理を堪能でき、鮭の聖地を体感できる。

④ ポー川ビジターセンター

ビジターセンター館内では、出土した土器や「標津番屋屏風」のレプリカ、タブ山チャシを再現した手作りのジオラマなどを展示している。



⑤ 原始河川ポー川でのカヌー体験



天然記念物に指定されている原始的景観のポー川を、ガイドの解説を聞きながら、ゆったりと楽しむことができる。

⑥ ポー川史跡自然公園散策

伊茶仁カリカリウス遺跡は、国内最大の竪穴住居跡。一万年前からほぼ途切れることなく人が暮らし続けた跡が残っており、当地の自然環境の豊かさを示している。

▼体験のお問合せは、下記「南知床標津町観光協会」へ

③ 鮭の水揚げ見学



ガイドの案内で、標津漁港の鮭の荷揚げ作業を見学する。時には十数万匹もの鮭が水揚げされ、その様子は圧巻。期間限定。

標津町ポー川史跡自然公園

国指定史跡「伊茶仁(いちゃに)カリカリウス遺跡」、国指定天然記念物・標津湿原、開拓の村と歴史民俗資料館の3エリアで構成された北海道最大級の野外博物館。

雄大な自然の中に竪穴住居跡が無数に残る遺跡の光景を見ると、この地に暮らした人々の息吹を感じることができる。

TEL：0153-82-3674



「鮭の聖地の物語」を味わう

根室海峡沿岸で一万年近く前から人々の食と暮らしを支えてきた鮭。江戸時代にはその美味しさが知れわたり、将軍に献上されていたほどだ。

現在、「鮭の聖地」のエリアでは、高品質な鮭をブランド鮭として発信している。標津町では活メ技術で鮮度を保つ「船上一本メ」や、標津産ケイジの「王標(おうひょう)」がおすすめ。運良く水揚げされていれば、漁協の直売所で購入することが可能。

市街地の飲食店では、鮭の聖地ならではの鮭の食べ方を楽しむこともできる。この地域で一般的な鮭の保存方法「山漬け」にされた鮭を使った「根室海峡鮭茶漬け」は、出汁に鮭の旨味が染み出して美味しい。山漬けで作る「飯寿司」も季節により飲食店で食べることができるが、販売店で購入も可能。鮭の聖地ならではの食を存分に楽しんでほしい。

※「鮭の聖地」の食・お土産は、裏面の「㊦」「㊧」のお店で！



街めぐりの情報はこちらで！

■ 南知床標津町観光協会

標津町南3条西1丁目1-6

TEL：0153-85-7226 mail：info@visitshibetsu.com

FAX：0153-85-7227 WEB：https://www.visitshibetsu.com/



日本遺産「鮭の聖地の物語」とは

「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～は、北海道根室管内の標津町、根室市、別海町、羅臼町に残された文化財によって証明される、根室海峡沿岸の歴史文化のストーリー。「鮭の聖地」の特徴は、毎年秋に繰り返される鮭の遡上という偉大な自然のサイクルが、一万年以上にわたって人々の営みを支え続けてきたことにある。太古の昔から人々を支え、そして今もなお根室海峡沿岸地域の基幹産業として位置づけられている鮭。鮭に笑い、鮭に泣いた人間たちの壮大なドラマ、それが「鮭の聖地」の物語である。

標津町～鮭の聖地 一万年の源流を訪ねて

根室海峡沿岸中央部に突き出る、全長28kmに及ぶ日本最大の砂嘴・野付半島。ここは古代北方文化の時代から江戸時代に至るまで国後島への渡海拠点となり、世界に開かれた日本の東門として、



野付半島

人々が往来する「道」の役割を担っていた。時代を超え人々の往来を誘ったのは、根室海峡最大の産物である鮭。野付から北へ約10kmにあるポー川の流域には、日本最大の竪穴群「標津遺跡群」が遺されている。一万年前から17世紀に至るまで、途切れることなく人が暮らし続けた跡がみられ、あらゆる時代の遺跡から多量の鮭の骨が見つかる。

江戸時代、根室海峡沿岸に和人が進出し、鮭漁の漁場を拓いた。標津代官南摩綱紀は、アイヌと和人が共に開拓に臨む水産業のまちづくりを構想し、その思いを「標津番屋屏風」に込めたとされる。

鮭を求め人々が繰り返し集まった、鮭の聖地一万年の源流を訪ね、先人の足跡と、その道程のいまを辿ってみてほしい。



標津番屋屏風

2022年3月発行

発行元：根室管内日本遺産推進協議会

鮭の聖地メナシネットワーク

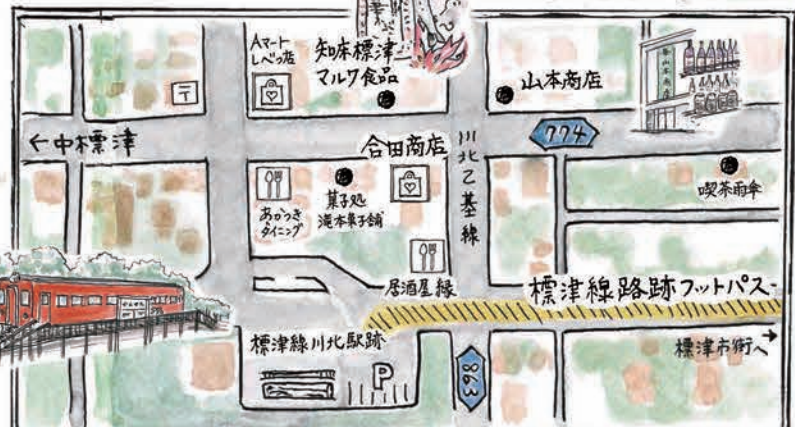
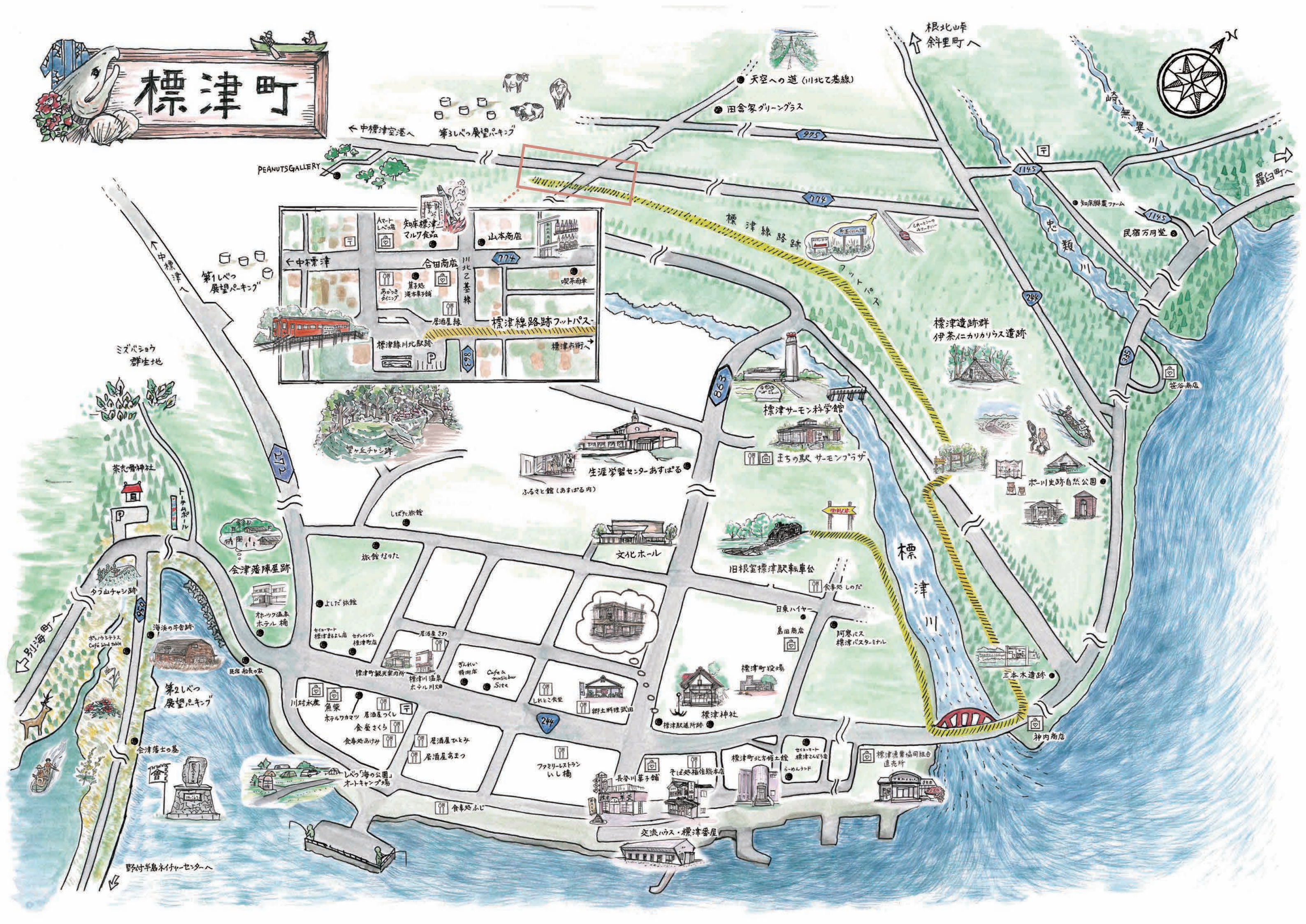
TEL：0153-82-3674

(標津町ポー川史跡自然公園内)

WEB：http://www.heritage-of-salmon.com/



標津町



標津町

群生地

茶光神社

タラシヤ

第2しべつ
展望パニング

会津藩士の墓

野付半島ネイチャーセンターへ

中標津空港へ

第3しべつ展望パニング

PEANUTSGALLERY

第1しべつ
展望パニング

知床標津
マルブ食品

山本商店

合田商店

アール・エス・ビル

居酒屋緑

標津線川北駅跡

標津線路跡フットパス

標津市街へ



望ヶ丘公園



生涯学習センターあすばる

ふるさと館(あすばる内)

しばた旅館

旅館なりた

よしだ旅館

会津藩陣屋跡

オホクワ温泉
ホテル 楠

海浜の片倉跡

ホシノラテラス
Cafe Island Table

別海町へ

標津町観光案内所

川村水産

魚菜

ホテルワカマツ

居酒屋つくし

食堂さくら

会津藩士の墓

居酒屋あま

居酒屋ひとみ

居酒屋あま

べつ「海の公園」
オートキャンプ場

食卓あけ

食卓あけ

ファミリーレストラン
いし橋

長谷川菓子舗

そば処福住旅館

標津町北方館土館

標津244号

標津漁業協同組合
直売所

交流ハウス・標津番屋

標津神社

標津町役場

日東ハイヤー

島田商店

阿婆バス
標津バスターミナル

旧根室標津駅駅舎

まちの駅 サモンプラザ

標津サモン科学館

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

羅臼町へ

知床農産物

民宿万月堂

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡

標津線路跡